

第1回コンパクトなまちづくり大賞について

主催：コンパクトなまちづくり推進協議会、都市みらい推進機構 後援：国土交通省

1. 趣旨

わが国の今後のまちづくりは、人口の急激な減少と高齢化の急速な進展という状況の下、多くの課題に直面しています。

都市全体の構造を都市及び周辺の住民の観点から総合的に見直すことで、集約化による社会のポテンシャルを維持しながらコンパクトなまちづくりを進めていくことは、もっとも重要な行政施策として位置付けられています。コンパクトなまちづくり大賞は、立地適正化計画制度やまちづくりのための各種事業等の制度等を活用し、地域の創意工夫のもと、コンパクトなまちづくりを推進し、他のモデルとなるまちづくりの取組事例を表彰するとともに、全国に紹介することを目的として、これまで2回実施した「コンパクトシティ大賞」と13回実施した「まち交大賞」を展覧的に統合し、以上のような事業や取組の一層の促進を支援しようとするものです。

2. 表彰

総合戦略部門（旧コンパクトシティ大賞）（※第1回応募数9件）

—立地適正化計画及び関連計画を公表し、特定テーマ：「地域活力を推進するまちづくり」または、「既存公共ストックを活用したまちづくり」に関する取組を行っている市区町村を対象に、立地適正化計画及び関連計画や特定テーマなどに基づくコンパクトなまちづくりにかかる計画を評価し、表彰します。

○国土交通大臣賞 1点：藤枝市（静岡県）

○コンパクトなまちづくり推進協議会会長賞 1点：西脇市（兵庫県）

個別事業部門（旧まち交大賞）（※第1回応募数9件）

—まちづくりにかかる事業（都市再生整備計画事業、市街地整備事業等）のいずれかを完了し、一定の成果を上げている市区町村を対象に、都市再生整備計画事業、市街地整備事業等あるいはその組合せにより地区の課題を解決した事業を評価し、表彰します。

○国土交通大臣賞 1点：都城市中央地区 都城市（宮崎県）

○都市みらい推進機構理事長賞 1点：釧路中心拠点地区 釧路市（北海道）

3. 応募できる者 市区町村

4. 審査委員会

委員長	高橋	洋二	東京海洋大学	名誉教授
副委員長	岸井	隆幸	日本大学	特任教授
委員	中井	検裕	東京工業大学環境・社会理工学院	教授
〃	足立	基浩	和歌山大学経済学部	教授
〃	伊藤	香織	東京理科大学理工学部	教授
〃	伊藤	伸一	株式会社建設環境研究所技術本部	技師長

上記以外に、国土交通省、主催者（順不同、敬称略）

5. スケジュール

募集	1月～2月（約2か月）（※第2回は本年11月より募集を開始する予定）
審査	3月～5月（委員会2回、必要に応じ現地調査実施）
公表	5月27日
表彰	国土交通大臣賞：6月14日、その他の賞：7月30日